

### 認知症の介護について

保科 惣一郎

【質問】高齢化の進展に伴って、寝たきりや認知症の高齢者が急速に増えている。

認知症の方々を支える目的で平成16年度より「認知症サポーターキャラバン」キャンペーンが始まっており、認知症を支援する輪が広がっている。

一方では介護サービスの幅

を広げるために「有償ボランティア制度」による介護活動をしている街も出てきている。

介護している方々が気兼ねなく安心して暮らせるような仕組み作りが、今求められていると思うが市長の見解を伺いたい。

【その他の質問】  
○刈田病院と地域医療の将来構想について

【答弁】【市長】認知症サポートの状況については、平成21年5月末日現在、白石市内には17名のサポーターがおり、養成講座を今年度は既に3回開催している。さらに、自治会等から開催依頼が数件来ている状況である。今後も同講座を受講する団体を広く募集し、認知症への理解を高めていきたい。

有償ボランティア制度のあり方の検討については、国の交付金事業を受け、白石市社会福祉協議会へ委託をして、ひとり暮らしの高齢者等生活サポート事業を展開している。同事業は、平成21年から平成23年までの3年間の事業であることから、利用状況を検証し、関係機関と連携しながら、この事業を発展させたものを確立したい。

今後増加していくと思われる老老介護等については、担当ケアマネジャー、民生委員、

### 駆けつけ保育サービスについて

安藤 佳生

【質問】当市の8保育園において、体調悪化等により途中降園した園児は、平成20年度中580名いた。

保育園で子どもに発熱等の病状が出れば、母親をはじめとする保護者は、会社や同僚に後ろめたさを感じつつ、休暇をとり、子どもを迎えに行き、医療機関を受診して

るのが現状である。

そこで、6月1日から板橋区が先進的に取り組んでいるが、看護師や保育士等の専門スタッフが、必要に応じて医療機関を受診させ、仕事を終えた親が迎えに来るまでの間、専用の保育室で療養をとらせ

る。【駆けつけ保育サービス】を行うお考えはないか伺いたい。

【答弁】【市長】駆けつけ保育サービス事業は、病後児保育の究極的な支援措置であると理解している。

しかしながら、病後児保育実施に当たっては、専任の看護師及び保育士の配置、さらには専用スペースが必要となるので、今年度に策定を予定している後期行動計画立案時において、前向きに種々検討をしたいと思います。

【駆けつけ保育サービス】

